

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療的ケア		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 火・2限	教室名	401
担 当 教 員	牧原新子	実務経験とその関連資格	看護師 医療的ケア及び介護教員 病院、介護福祉施設で介護職員の指導看護師実務経験15年			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉士が医療的ケアを行う背景・制度等、医療的ケアを安全・安楽に対するための基礎的知識・技術を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70% レポート20% 態度・発表10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成校座15 医療的ケア 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
使用教材の演習を復習とし、演習時をイメージできるようにする						
《履修に当たっての留意点》						
医療物品の清潔操作、消毒を確実に理解する						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護職等による喀痰吸引制度と医療的ケアについて知識を深めることができるようになる			
		各コマにおける授業予定	医療的ケアの実施の基礎 医療的ケアについて			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とその法律の理解することができる			
		各コマにおける授業予定	医療的ケアと喀痰吸引等の背景・法律			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護職ができる範囲、役割を正しく理解することができる			
		各コマにおける授業予定	安全な療養生活 喀痰吸引、経管栄養の安全な実施、救急蘇生			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントの考え、ヒヤリハット、アクシデントの報告の流れを理解することができる	障がい者スポーツ 指導教本 第12章参考		
		各コマにおける授業予定	安全管理 リスクマネジメントについて			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染予防の基礎知識、消毒剤の取り扱いを正しく理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	清潔保持と感染予防 消毒剤の使用上の留意点について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインについて理解し急変状態、対応を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	健康状態の把握 バイタルサインの見方、測定方法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸のしくみから喀痰吸引の理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	①高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみ、働き 喀痰吸引 人口呼吸		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者、家族の気持ちを理解できるようになる 急変の対応を知ることができる		
		各コマにおける授業予定	②高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 吸引をうける利用者、家族について 安全確認、急変、事故発生の対応		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引の物品、消毒方法を知ることができるようになる		
		各コマにおける授業予定	①高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引で用いる器具・器材のしくみ・清潔保持方法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引実施の手順と留意点を学び演習のイメージがもてるようになる		
		各コマにおける授業予定	②高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 吸引の技術と留意点・観察項目・吸引時のケア・報告、記録		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	消火器の役割、しくみと経管栄養の関連性を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	①高齢者及び障害児・者の経管栄養の概論 消火器のしくみと働き・経管栄養のしくみ・注入について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養の基礎知識について理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	②高齢者及び障害児・者の経管栄養の概論 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 急変、事故対応事前対策		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養を安全に実施するための手順を学びそれらを理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	①高齢者及び障害児・者の経管栄養の実施手順解説 必要物品の準備・設置、実施手順と留意点		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養を安全に実施するために欠かせないケアを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	②高齢者及び障害児・者の経管栄養の実施手順解説 経管栄養に必要なケア 報告、記録		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療物品、器材の消毒方法、観察のポイントの把握が理解でき、演習時安全に喀痰吸引、経管栄養が実施できるようになる		
		各コマにおける授業予定	これまでの授業のまとめと試験		